

月刊 全調協 ニュース

ZENCHOKYO MONTHLY NEWS

発行 (公社)全国調理師養成施設協会
編集人 服部 幸應
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-13-4 新中央ビル3階
TEL 03-3374-5381

号外

新型コロナウイルス感染症対策 調理師養成施設対応情報

養成施設事例集 1

オンライン授業導入情報 5

養成施設・学生への支援・給付情報 5



新型コロナウイルス感染症対策 調理師養成施設対応情報

5月25日、ようやく新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の全面解除が発表されました。しかし、これですべてが終わったわけではなく、各調理師養成施設では、感染防止に配慮した授業再開に向けての取り組み、休校長期化に伴う授業計画の変更など、前例のない事態に直面しながら、就職先の確保、来年度の学生募集など通年のスケジュールをこなさなければならず、引き続きさまざまな対応に追われることと思われます。

このような状況に鑑み、去る5月19日に行われた三役会議において、養成施設のコロナ対応についての情報・事例を全養成施設で共有し、全調協が一丸となってこの苦境を乗り越えていく必要があるという認識で一致しました。先日、全調協ニュース6月号の特集「各養成施設のコロナ対策」に向けたアンケートを実施しましたが、6月19日の発刊までに時間を要するため、最新情報をいち早く発信する方法として、ニュース号外を発行することとなりました。

養成施設の対応については、これまでの情報を集約した「[新型コロナウイルス感染症対策に係る調理師養成施設対応指針](#)」を協会の基本的方針として、5月25日に発表しましたが、この号外には実際に各養成施設で取り組まれている例をはじめ、参考になると思われる情報を掲載しました。さらに、協会是指針を補完する [Q&A](#) をすでに公表しており、これらを併せて、今後の対応に、ご活用ください。

養成施設事例集

各養成施設の授業の具体的な実施方法について、5月中旬に実施した、「養成施設のコロナ対応についてのアンケート」での回答を抜粋し、掲載する。

同アンケートの詳細については、全調協ニュース6月号に掲載する予定としているので、そちらをご覧ください。

(1) 自宅学習中の授業

● 連絡・準備

- ・教材の郵送
- ・生徒宅への家庭訪問で課題の受け渡し
- ・アプリ導入・グループを確立
- ・学生のサイトを利用した課題提示
- ・クラッシー等を使った課題等の実施
- ・基礎技術動画の作成
- ・DVDの作成（実習着の着方、包丁の持ち方、手指の洗い方、挨拶の仕方など）
- ・オンラインでのオリエンテーション、個人面談、

進路面談等を実施

- ・新型コロナ対策臨時支援金給付（オンライン授業に伴う通信費の補助）

● 授業の実施

- ・LINE @にて切り方動画配信
- ・白衣着用の手順を動画で説明
- ・学生との対話型パーソナル授業と何度も繰り返し見て練習や学習のできるオンデマンド授業実施
- ・オンライン講座（全学で119講座）任意参加
- ・座学はMicrosoft Teamsを活用した対面型授業を行い、実習は各家庭で献立作成、栄養計算、原価計算を行わせたうえで調理を行い、完成したものを写真に撮り添付して提出させる
- ・動画提出による実技指導
- ・Zoom機能を活用し、事前にパワーポイントで講義内容を用意したものを組み合わせた授業
- ・プリント学習の実施（今まではほとんど未使用）

(2) 登校再開後の対面授業

● 実習編

三密回避

- ・分散登校
- ・更衣室使用時間をずらす
- ・講義・実習とも隣との間隔を空ける
- ・講習台でのデモも、学生たちは少し離れて視聴
- ・実習室の拡大利用
- ・放課後の調理実習室の利用者数制限

班編成・人数変更

- ・班での実習を中止し、個別習得可能な内容で実施
- ・実習班を2名に縮小
- ・実習は、調理台1台に学生2人で実施

試食

- ・試食中の私語厳禁
- ・試食する際の生徒の座席配置の変更
- ・調理後の試食はテーブルの数を増やし対面にならないように実施
- ・試食なしで実技練習のみ

感染予防

- ・各作業変更時には、いったん実習全体を止めて、生徒全員が手洗いを行うように徹底（アルコール液が購入できないため）
- ・次亜塩素酸による作業台の消毒
- ・作業担当者の明確化の徹底、調理用具の数を縮小（切る人・洗う人・作る人と実習当番を明確にして行う。例：いつもは全員が包丁を出す、切る人のみが自分の包丁を出す）

- ・実習は共通で使用する器具等を最小限に
- ・実習は師範のみとし、それに伴い実習内容の変更、年間計画の変更を行う予定
- ・料理の盛り付けは各個人の皿へ（中国料理）

● 座学編

- ・座学授業を大教室で実施
- ・隣との間隔を空ける
- ・座学は課題を自宅で行う
- ・分散登校とし、自宅学習時は引き続きオンライン授業を行う

(3) 具体的な取り組み事例

コロナ対策については、各養成施設さまざまな対応をされていることがアンケートの結果で分かった。さらに、具体的な取り組み事例について、服部栄養専門学校の担当の先生にお話を伺った。

これまでの経緯

すでに2月の時点で卒業式・卒業記念パーティーの中止を決定していました。留学生の渡航のことなどもあり、早急に対応しなければいけなかったことから、3月上旬に学生・保護者には入学式・新学期開始が延期になる可能性があることを郵送で通知し、学校HPにその旨を掲載することを伝えました。その後の情報については、随時学校HPでお知らせしています。



緊急事態宣言が発令されてからは、5月1日学校開始に向けて準備していましたが不可→5月9日開始予定・不可→16日からオンライン授業開始→6月1日登校開始の予定で進めています。

学校 HP についてはコロナ特設ページを設けています。これについては学内でチームを立ち上げ、そこで掲載内容を話し合っています。

<https://www.hattori.ac.jp/news/5812>

オンライン授業導入について

オンライン授業導入については、グーグルエデュケーションのオンデマンド型の授業について個人的に興味があったことから、2年ほど前に個人でドメインを取得し、研修会に参加するなどしていました。今回の導入に当たっては、5人ほどのチームで模索しながら構築しています。

流れとしては、5月13日までにすべての学生に対して学生アカウントを発行してログインできる環境を整えました。15日にはログイン状況を確認するための架空の始業式のようなものを行い、18日から本格的にオンライン授業を開始しており、座学はすべてオンデマンド型の授業を行っています。

オンライン授業については、学生向けポータルサイトを作成し、学校のドメインでないと見られないようにしています。ポータルサイトには「オンライン授業の受け方(マニュアル、アカウント設定の方法等)」、「新入生のみなさまへ(学校長挨拶)」「就職方法について」などを掲載しています。学校にはまだ各教室のハードウェアが設置されていないため、これから整備を徐々に進めることとしています。

オンライン授業では、講義をおおむね3ブロックに分け、ブロックごとの課題等を通して習熟度の確認と質問対応を行っています。オンライン授業については、文部科学省より「設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導と生徒の意見交換の機会」が必要であるとの指導から、100分通して動画を作成するのではなく、確認テストや質問ができるようにして教育効果を高めています。

オンライン授業の内容は各科目で異なりますが、

5/1(祝月)「よくある質問」をまとめました [詳しくはこちら](#)

服部栄養専門学校 学生向けポータルサイト

■ PICK UP

オンライン授業の受け方

[オンライン授業についてはこちら](#)

新入生のみなさまへ

2020年4月入学の方へ 担任からのメッセージ

就職活動について

[求人検索・ガイダンス等の情報はこちら](#)

各種手続き

[住所変更・証明書発行などのお手続きはこちら](#)

■ 関連サイトへのリンク

Googleカレンダー: 各自のスケジュール確認に使用します
Gメール: 重要なお知らせが入りますので、定期的にチェックしましょう

■ スマートフォン・タブレットPC用 遠隔授業受講のための必須アプリ

- Gメール ios Android メール確認
- Google Classroom ios Android ホームルームや授業
- Google Meet ios Android ライブ授業やオンライン会議
- Google ドキュメント ios Android 課題・レポート作成
- Google スライド ios Android 資料閲覧・プレゼン作成
- Google スプレッドシート ios Android 表計算
- Google ドライブ ios Android ファイル管理
- Googleカレンダー ios Android スケジュール確認
- Youtube ios Android 動画視聴

■ その他 推奨アプリ

- PDF Reader (パソコン スマートフォン 資料閲覧)

■ 各種お問い合わせ

- オンライン授業に関するお問い合わせ
- 就職活動に関するお問い合わせ
- 学費・奨学金に関するお問い合わせ

服部栄養専門学校 公式ウェブサイト <https://www.hattori.ac.jp/>

例えば「最初の質問(入室確認)」「イントロダクション(教育のねらい、目的)」「本編(スライドなど)」「確認テスト(スコア表示付き)」「授業時間確認(退室記録)」に項目立てで行っています。

授業への参加確認は、最初に気軽に回答できる選択質問(鯛焼きは「しっぽから食べる／頭から食べる」どちらかを選択など)に答えさせて入室記録としています。また、退出時には100分の授業を「ゆとりを持って受けられた」「時間ぴったりだった」「時間超過した」どれかを選択させ、退室記録としています。この質問については、「ゆとりを持って受けられた」学生には他のコンテンツを見られるように、また「時間超過した」学生にはその理由を記載してもらい、学校側でフォローを検討できるような仕組みを作っています。

このような中、学生のモチベーションは高くなっています。多くの学生がオンライン授業の画面をノートに転記したり、分からないところは再度視聴したりするなどしており、じっくりと取り組むことができる点で座学受講者からは「オンライン授業のほうがよい」という反応があります。

調理実習の実施方法について

6月1日から生徒が登校する予定となっています。調理実習については、通常は40名1教室のところ20名1教室に抑制して交代で行い、実習時間を折半しています。折半した半分の時間は、実習を事前収録してYouTubeの限定公開で配信したものを視聴してもらう予定です。動画配信については、例えばきゅうりの小口切りなどを一つのトピックスとして内容をまとめ、それぞれでも視聴可能、さらにいくつかのトピックスを通して見ると一つの料理ができるような流れとしています。なおかつそれは調理操作を学ぶ上で重要なコンテンツにもなります。

実習に当たっては、まずその動画配信をオンラインで視聴してポイントとなる知識を頭に入れ、その後登校して実習室で体験するわけですが、やはり触ったときの感触、味や香りなどは映像では感じら



れず、実際に体感させなければなりません。デモンストレーションは体験させなければならない部分にフォーカスを当て、ポイントを絞ってコンパクトに行います。現状の予定では、従前の40人体制に戻るまでは、そこまで難しい調理ではなく基礎的な部分となると思われるので、それでいけると考えています。

オンライン講習の内容は、基礎的な実習室に入るときの衛生上の注意点、実習服の着方、包丁の種類と扱い方の注意点なども動画で配信し、さらに実際にやってみて理解を深めるようにします。

今後、第2波、第3波が起こる可能性も考慮し、いつでもオンライン授業に切り替えができるよう、継続的に内容を詰めていくこととしています。

学校再開に当たっての留意点

学校再開に当たっては、入校時に入り口（外に包丁とぎ用のシンクが並んでいる）でしっかりと手を洗い、除菌マット（実習室前にも設置）で靴裏を除菌し、校内に菌を持ち込ませないように徹底します。また、三密を避けるほか、学生1人1人にジアミスター（次亜塩素酸ナトリウム製剤）入りの小型スプレーを配布し、要所で除菌を心掛けてもらうようにするように準備しています。

いい機会なので、学生たちに衛生教育の意識をしっかりと身に付けさせるようにしようと思っています。調理師はお客さまの健康や命をお預かりしている仕事なので、そのために、自分の健康に留意することはもちろんのこと、感染源に近づかないような策を講じておく、それがひいては周りの人の健康につながるので、そういったことも伝えていきたいと思っています。

それでも事故のように感染することは起こりうるので、感染した人を誹謗中傷するようなことはあってはいけないと思います。そのような風潮が広がると、感染した場合に言い出しにくくなり、それで感染を隠して登校してしまうことが起きる可能性があります。そんなことは絶対にあってはいけないので、万が一防ぎきれずに感染した場合でも、それに責任を感じたり、恥ずかしいと思ったりすることなく、最優先しなければならないことは、その事実を周知して、広げないという決断と即時の行動が大事だということを、まずは学生に伝達しようと考えています。

この状況を体験した学生が、この時だからこそ学べたレベルの高い衛生観念を持ってくれることを願っています。

オンライン授業導入情報

まだオンライン授業を導入していない養成施設や模索中の養成施設のために、導入の手法等について参考になりそうなサイトを挙げた。

文部科学省

[「遠隔教育システム活用ガイドブック」](#)

遠隔教育（オンライン授業）システムについて、手法、事例、導入方法など、さまざまな情報が掲載されている。

文部科学省

[「学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ & A 等の送付について」](#)

大学及び高等専門学校における学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ & A等についての事務連絡。

北海道大学

[「北海道大学におけるオンライン授業導入ガイド」](#)

オンライン授業の導入を検討している教職員向けに、またオンライン授業の受講方法を知りたい学生向けに、オンライン授業の導入・実施方法を解説している。

筑波大学

[「遠隔授業を準備し、実施する上での注意点」](#)

遠隔授業導入について、その位置付けと特色、準備と実施、配慮すべき点、教育効果の評価について、文部科学省等の情報を豊富に記載しながら解説している。

養成施設・学生への支援・給付情報

養成施設や学生に対する支援や給付等について、参考になりそうなサイトを挙げた。

（１）養成施設に対する支援

日本私立学校振興・共済事業団融資課

[「日本私立学校振興・共済事業団の融資制度」](#)

日本政策金融公庫（国民生活事業）

[「新型コロナウイルス特別貸付」](#)

経済産業省

「[持続化給付金](#)」(令和2年度補正予算の成立が前提)

都道府県労働局または公共職業安定所(ハローワーク)

「[雇用調整助成金](#)」

(2) 学生に対する支援

文部科学省

新型コロナウイルス感染症の影響で学費等支援が必要になった学生のみなさんへ

「[高等教育修学支援新制度](#)」

日本学生支援機構

「[給付奨学金案内ー家計急変ー給付型奨学金](#)」

「[奨学金の制度\(貸与型\)](#)」

「[緊急採用・応急採用](#)」

日本政策金融公庫

「[教育一般貸付\(国の教育ローン\)](#)」

これらの他に、文部科学省ホームページに各種情報が掲載されているので、参考にさせていただきたい。

「[専修学校に係る新型コロナウイルス感染症へのポイント解説](#)」

「専修学校に係る新型コロナウイルス感染症へのポイント解説」説明動画

[【通知編】\(情報発信\)](#)

[【予算編】](#)

[【著作権法改正・修学支援新制度編】](#)

「[学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～](#)」